

交通安全対策

平成22年9月30日

国土交通省 関東地方整備局 甲府河川国道事務所
山梨県 県土整備部

目 次

1. 山梨県における交通事故対策の取り組み	1
(1) H17交通安全対策優先箇所の取り組み	1
(2) レッドゾーン戦略の取り組み	1
(3) H17交通安全対策優先箇所の「対策の進捗状況」	2
(4) H17交通安全対策優先箇所の「対策効果」	3
2. 山梨県における交通事故の現状	7
(1) 交通事故の発生状況	7
(2) 沿道状況によって異なる事故発生状況	7
3. 新たな対策優先箇所の選定	9
(1) 全体構成	9
(2) 事故データに基づく課題箇所の抽出	10
(3) H22交通安全対策優先箇所の抽出イメージ	11
(4) 事故データには現れない課題箇所の抽出	12
4. 今後の予定	13

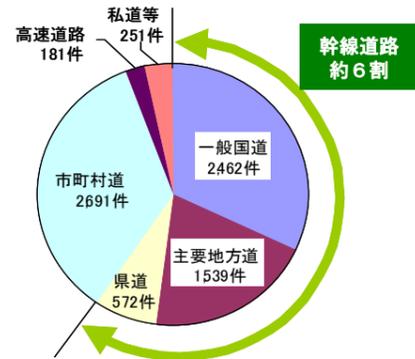
1. 山梨県における交通事故対策の取り組み (1/6)

(1) H17交通安全対策優先箇所の取り組み



- ・ 死傷事故の約6割が、約2割の県道以上の幹線道路に集中。
- ・ 交通安全対策優先箇所として、交通事故データやパブリックコメントを通して47箇所を選定。
 - 道路の課題をデータで把握。
 - 解決を急ぐべきところから重点的に対策。
 - 道路行政をもっとわかりやすく。

〈山梨県 道路種別別死傷事故発生件数 (H16)〉

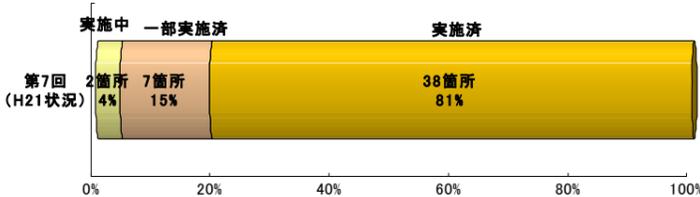


資料：H16交通事故統計年報

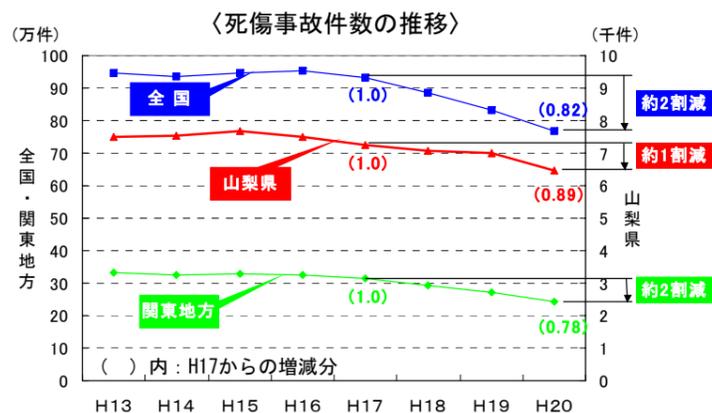


- ・ 対策実施済が38箇所 (81%)
- ・ 一部実施済は7箇所 (15%)
- ・ 実施中は、2箇所 (4%)

〈対策優先箇所における対策実施状況〉



- ・ 対策実施箇所においては、対策前と比べて約3割事故が減少。
- ・ 山梨県全体としては、平成17年から平成20年にかけて約1割の減少にとどまり、他地域と比べてその減少割合は小さい。
- ・ 死傷事故率100件/億台^{キロ}以上の箇所が多く残っている。



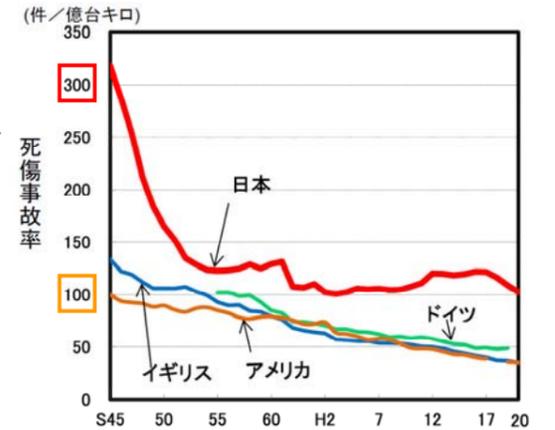
- ①対策必要箇所の全体把握
- ②レッドゾーン戦略の反映
- ③対策効果が高い事故 (事故類型) への着目
- ④山梨県の事故状況の反映
- ⑤データには現れない 課題箇所の拡充

(2) レッドゾーン戦略の取り組み

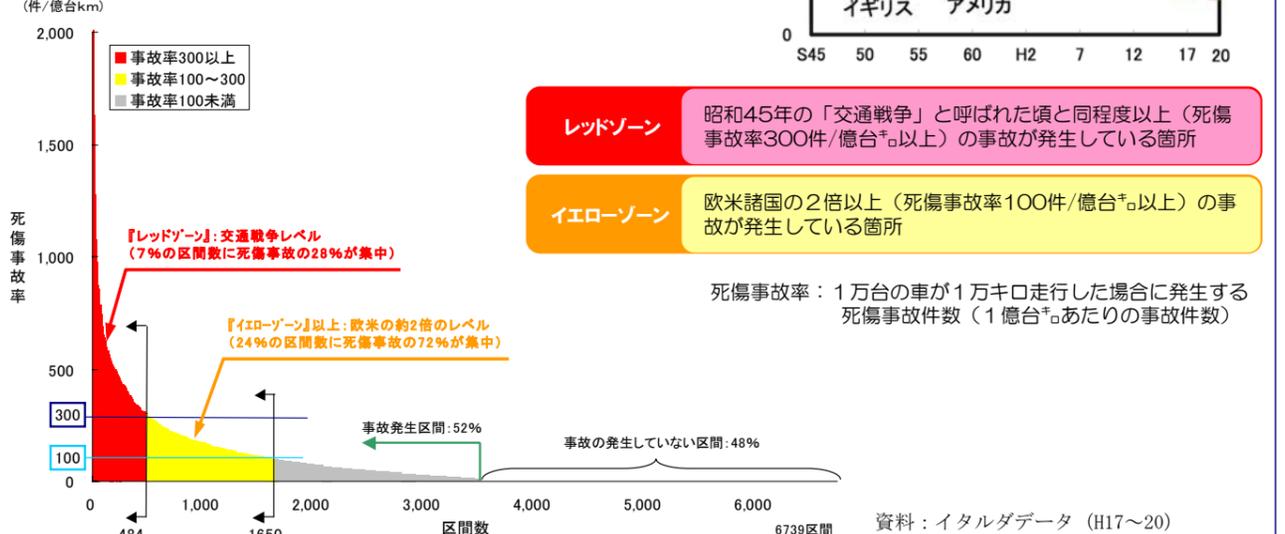
- ・ レッドゾーン戦略は、交通安全の新たな取り組みとして、関東地方整備局内で同一の指標 (死傷事故率) によって事故の危険性の高い箇所を抽出。
- ・ 山梨県においては、幹線道路の7%にあたる約500箇所がレッドゾーンに該当する。

■ 関東地方整備局管内における交通安全の動向

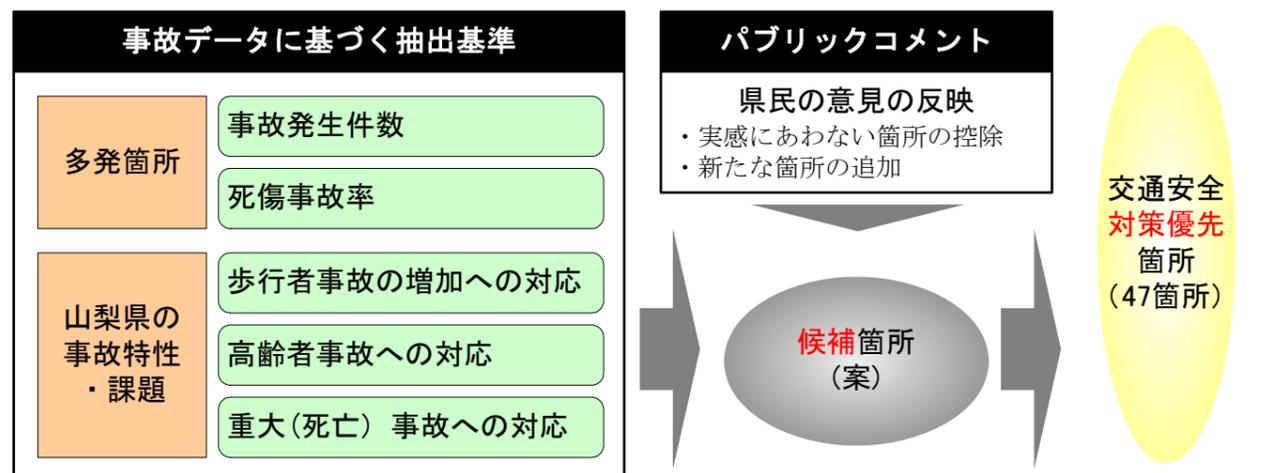
- ・ 日本の死傷事故率は、昭和45年 (1970年) をピークに減少しているものの、欧米諸国と比べ依然高い。
- ・ 関東地方整備局管内では、レッドゾーンに該当する区間を選定し、優先的に事故対策を実施。



〈山梨県のレッドゾーン・イエローゾーン〉



H17交通安全対策優先箇所の選定方法



1. 山梨県における交通事故対策の取り組み (2/6)

(3) H17交通安全対策優先箇所の「対策の進捗状況」

交通安全対策優先箇所位置図

- ・死傷事故件数は減少し、死傷事故率も減少しているが、レッドゾーン、イエローゾーンに該当する箇所が多く残っている。



〈実施状況〉

- 実施中** : 現在、対策を実施している箇所
- 一部実施済** : 複数ある対策のうち対策実施した事業がある箇所
- 実施済** : 全ての対策を実施した箇所

- レッドゾーン** (死傷事故率300件/億台^千以上)
- イエローゾーン** (死傷事故率100件/億台^千以上)

H17見える化対策優先箇所

地域	番号	箇所名	路線名	対策実施状況	死傷事故件数(件/年)			死傷事故率(件/億台 ^千)			対策実施年
					①実施前	②実施後	死傷事故件数増減(②-①)	①実施前	②実施後	死傷事故件数増減(②-①)	
甲府	1	笛吹市石和橋西交差点	国道20号	実施済	4.7	3.5	-1.2	238	177	-61	H18年
	2	甲府市向町2交差点	国道20号	実施済	7.8	4.0	-3.8	396	202	-194	H17年
	3	甲府市中小河原1	国道20号	実施済	2.3	5.0	2.7	48	105	57	H18年
	4	甲府市国母立体交差点	国道20号	実施済	7.0	7.5	0.5	297	318	21	H18年
	5	甲府市国母交差点	国道20号	一部実施済	14.7	6.7	-8.0	897	408	-489	H17年
	6	甲府市国母5	国道20号	実施済	4.6	7.5	2.9	208	342	134	H18年
	7	甲府市德行立体交差点	国道20号	実施済	4.4	2.5	-1.9	135	76	-59	H18年
	8	甲府市德行4	国道20号	実施済	2.0	0.5	-1.5	360	90	-270	H18年
	9	甲斐市竜王立体交差点	国道20号	実施済	5.6	3.0	-2.6	340	183	-157	H18年
	10	甲府市甲府署前交差点	国道52号	実施済	7.5	4.3	-3.2	937	541	-396	H17年

地域	番号	箇所名	路線名	対策実施状況	死傷事故件数(件/年)			死傷事故率(件/億台 ^千)			対策実施年	
					①実施前	②実施後	死傷事故件数増減(②-①)	①実施前	②実施後	死傷事故件数増減(②-①)		
甲府	11	甲府市桜井町	国道140号	実施済	1.7	0.0	-1.7	685	0	-685	H18年	
	12	笛吹市石和町河内	国道140号	一部実施済	4.6	1.5	-3.1	436	143	-293	H18年	
	13	甲府市古閑町	国道358号	実施済	2.4	2.5	0.1	86	88	2	H18年	
	14	甲府市相生1・2	国道358号	実施済	1.7	0.5	-1.2	630	184	-446	H18年	
	15	山梨市一町田中	国道411号	実施済	1.6	0.5	-1.1	506	161	-345	H18年	
	16	甲府市酒折1	国道411号	実施済	2.2	1.0	-1.2	711	328	-383	H17年	
	17	甲府市善光寺1	国道411号	実施済	2.7	1.0	-1.7	302	113	-189	H17年	
	18	甲府市伊勢1-8交差点	甲府市川三郷線	実施済	6.0	(2.0)	(-4.0)	1,674	(558)	(-1116)	H19年	
	19	昭和町国母駅入口交差点	甲府市川三郷線	実施済	3.1	(1.0)	(-2.1)	1,015	(324)	(-691)	H19年	
	20	昭和町西条	甲府市川三郷線	一部実施済	2.3	1.5	-0.8	760	498	-262	H18年	
	21	昭和町飯喰	甲府市川三郷線	実施済	3.6	0.5	-3.1	755	106	-650	H18年	
	22	中央市小井川駅入口交差点	甲府市川三郷線	実施済	3.3	2.0	-1.3	1,067	649	-418	H18年	
	23	甲斐市万才	甲府南アルプス線	実施済	2.3	0.0	-2.3	850	0	-850	H18年	
	24	南アルプス市上今諏訪457交差点	甲府南アルプス線	実施済	5.3	6.5	1.2	649	798	148	H18年	
	25	南アルプス市開国橋西交差点	甲府南アルプス線	実施済	5.4	3.0	-2.4	333	184	-149	H18年	
	26	甲府市丸の内1・2	甲府市葦崎線	実施済	3.0	1.5	-1.5	691	345	-345	H18年	
	27	甲府市丸の内1・2	甲府市葦崎線	実施済	1.0	2.5	1.5	190	474	285	H18年	
	28	甲府市武田交差点	甲府市葦崎線	実施済	5.1	4.0	-1.1	1,152	896	-255	H18年	
	29	甲府市富士見通り北交差点	甲府市葦崎線	実施済	4.5	(5.0)	(0.5)	695	(772)	(77)	H19年	
	30	甲府市北部市民センター前交差点	甲府市葦崎線	実施済	4.0	3.0	-1.0	914	686	-229	H18年	
	31	甲府市北口2	甲府市山梨線	実施中	2.0	-	-	479	-	-	H21年	
	32	南アルプス市飯野一区交差点	飯野新田白根線	実施済	1.1	1.5	0.4	991	1,303	313	H18年	
	33	山梨市中牧神社北交差点	山口塩山線	実施済	2.0	0.3	-1.8	3,779	472	-3,307	H17年	
	34	笛吹市石和町小石和	白井河原八田線	一部実施済	0.9	0.5	-0.4	119	69	-50	H18年	
	35	増穂町青柳	平林青柳線	実施済	1.3	(0.0)	(-1.3)	283	(0)	(-283)	H19年	
	36	甲斐市竜地	鳥上条宮久保絵見堂線	実施済	1.0	-	-	187	-	-	H20年	
	峡北	37	葦崎市船山橋北詰交差点	国道20号	実施済	5.6	4.0	-1.6	521	374	-147	H18年
		38	北社市牧原交差点	国道20号	一部実施済	2.0	1.7	-0.3	271	226	-45	H17年
	富士山麓	39	富士河口湖町河口	国道137号	一部実施済	5.2	2.3	-2.8	121	54	-66	H17年
		40	山中湖村山中	国道138号	実施済	6.5	4.0	-2.5	187	115	-72	H17年
		41	山中湖村山中	国道138号	実施済	2.7	3.0	0.3	204	229	25	H17年
		42	鳴沢村7619	国道139号	一部実施済	2.7	2.7	0.0	103	103	0	H17年
		43	富士河口湖町船津登山道入口交差点	国道139号	実施済	4.8	2.8	-2.0	448	264	-184	H15年
	東部	44	山中湖村平野506	国道413号	実施済	1.5	0.8	-0.7	217	116	-101	H15年
		45	富士河口湖町船津富士線	富士河口湖富士線	実施中	3.7	-	-	955	-	-	H21年
		46	大月市大月市立病院交差点	国道20号	実施済	2.7	3.0	0.3	631	688	67	H18年
47		大月市大月インター入口交差点	国道20号	実施済	3.3	2.6	-0.7	1,080	864	-216	H15年	
合計 (対策効果の計測可能な40箇所による集計)					154	105	-48	310	212	-98	-	

※死傷事故件数及び事故率は、平成11～20年のデータによる集計(対策実施年は集計対象外)

()は対策実施後1年のデータによるもの

※合計は、対策実施中、対策実施後1年以下の箇所(データ精度の面を考慮)を除く40箇所による集計

※四捨五入のため合計が合わない場合がある

1. 山梨県における交通事故対策の取り組み（3／6）

（4）H17交通安全対策優先箇所の「対策効果」

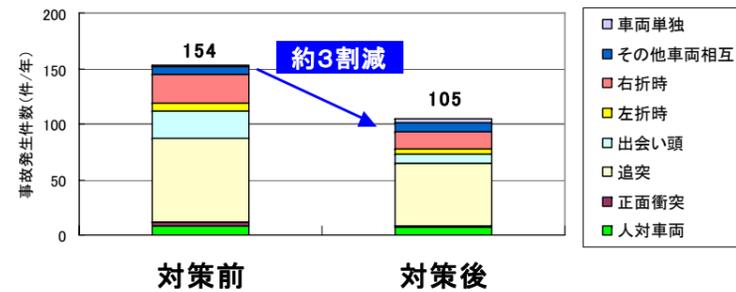
事故件数の変化

- ・対策実施箇所（40箇所）の対策実施前後で、約3割の事故減少。
（直轄国道 約3割減 県管理 約4割減）
- ・事故類型のうち出会い頭事故が69%減と、対策効果が最も高い。
- ・正面衝突事故（61%減）、右左折事故（42%～52%）の対策効果は比較的高い。

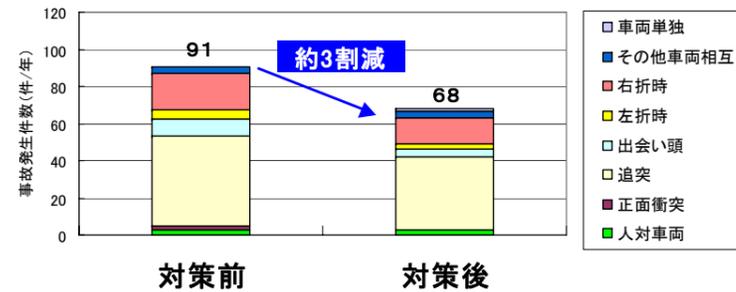


対策効果が高い事故類型（出会い頭・正面衝突事故）への着目

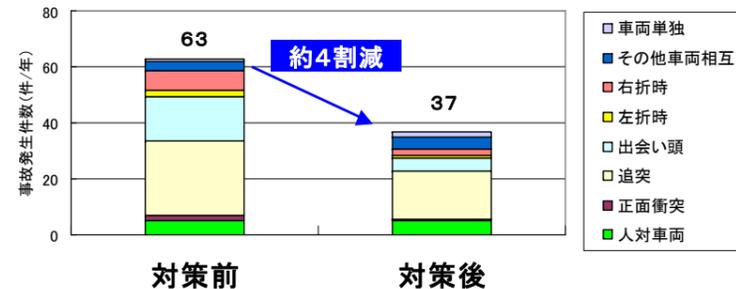
対策実施前後の事故件数の変化(40箇所)



直轄箇所(18箇所)



県管理箇所(22箇所)

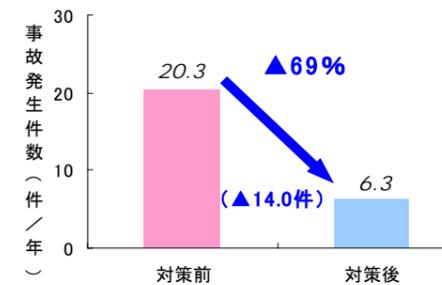


※平成11～20年の事故データによる集計(対策実施年は集計対象外)
※実施中の箇所除く。また、対策実施後1年以下の箇所については、データ精度の面から除外とした。

出会い頭事故対策実施箇所(22箇所)

- ・警戒標識
- ・自発光式交差点標 等の実施

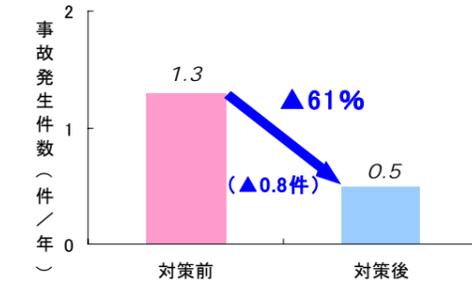
出会い頭事故(件数)



正面衝突事故実施箇所(2箇所)

- ・登坂車線の整備
- ・法定外標識 等の実施

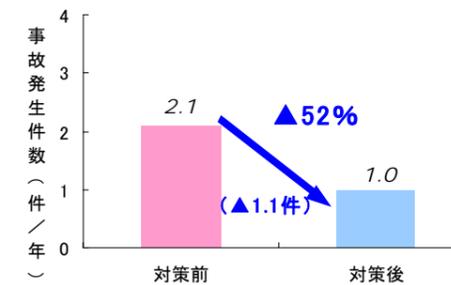
正面衝突事故(件数)



左折事故対策実施箇所(5箇所)

- ・歩道設置
- ・路面標示 等の実施

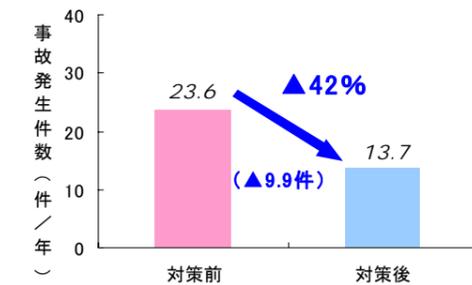
左折事故(件数)



右折事故対策実施箇所(17箇所)

- ・右折導流線
- ・交差点内のカラー化 等の実施

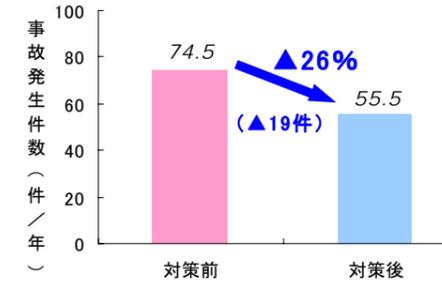
右折事故(件数)



追突事故対策実施箇所(36箇所)

- ・右折レーン(延伸)
- ・減速レーンマーク 等の実施

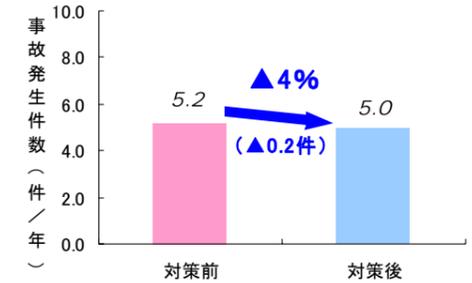
追突事故(件数)



人対車両事故対策実施箇所(9箇所)

- ・交差点内のカラー化
- ・視距改良 等の実施

人対車両事故(件数)

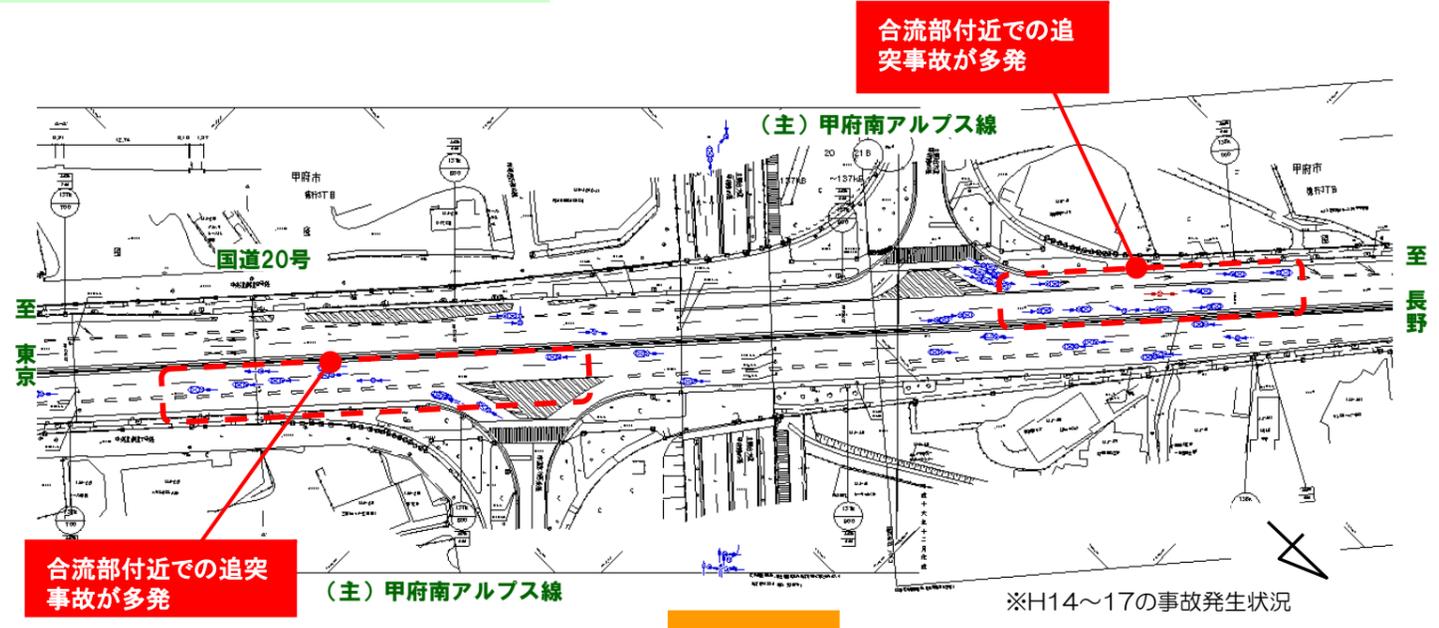


1. 山梨県における交通事故対策の取り組み（4/6）

（4）H17交通安全対策優先箇所の「対策効果」 事例1:国道20号 甲府市徳行4丁目 (No.8)

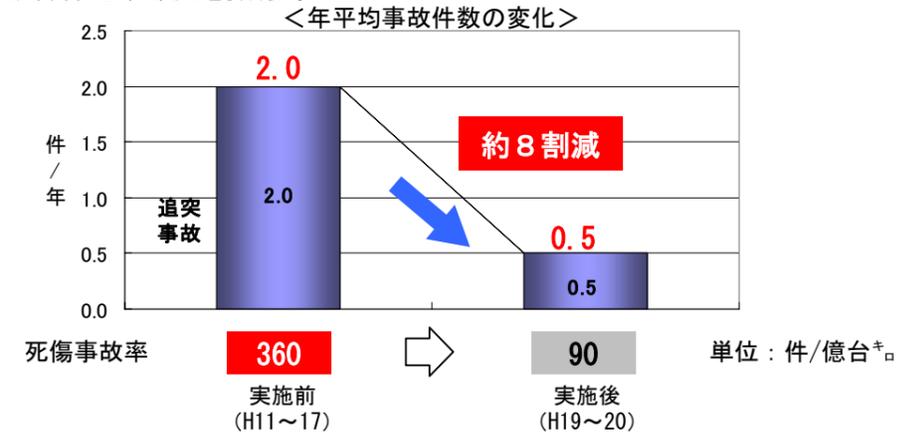
「路面標示」・「カラー舗装」等の対策で合流部付近の「追突事故」が減少しました

交通事故の発生状況



対策効果

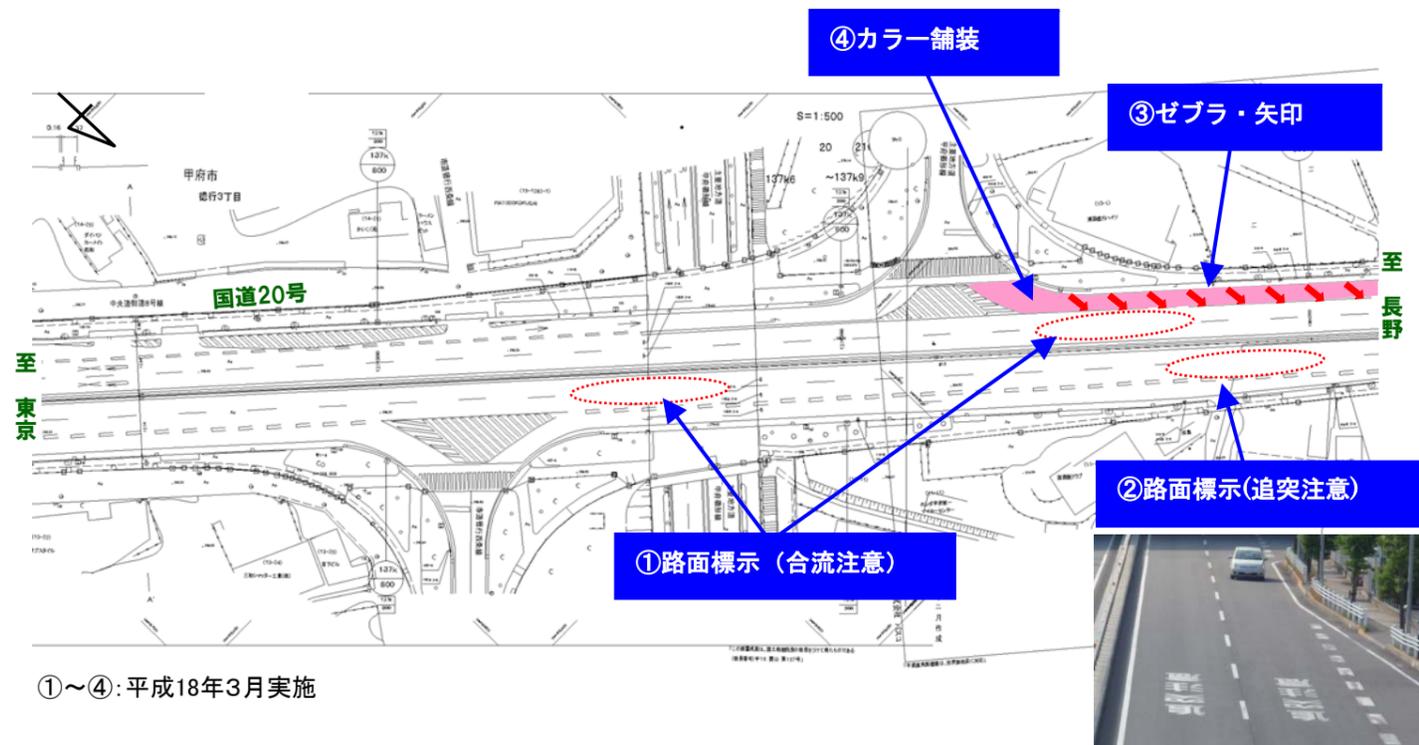
・事故件数は、約8割減少。



※本箇所の事故はすべて追突事故である。

引き続き経過を観測し、適宜対策を実施

実施した事故対策

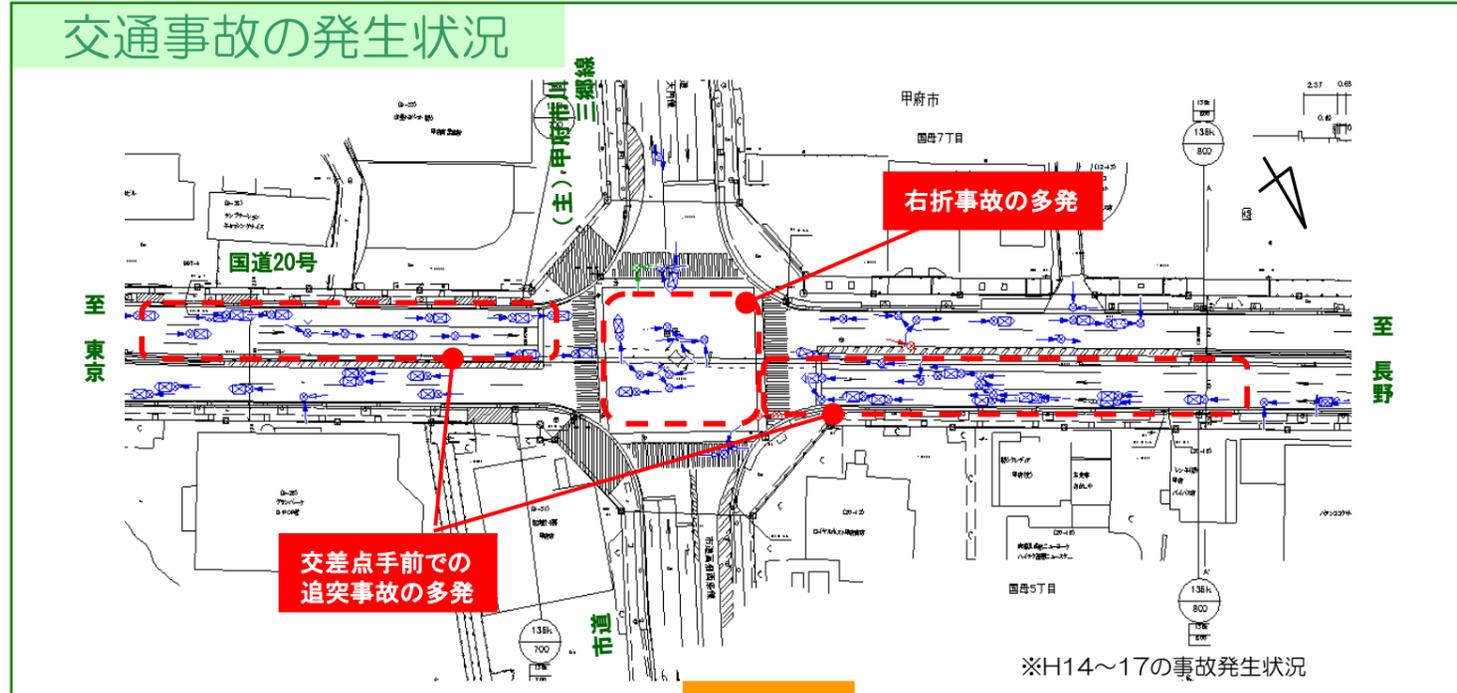


1. 山梨県における交通事故対策の取り組み (5/6)

(4) H17交通安全対策優先箇所の「対策効果」 事例2:国道20号 国母交差点 (No.5)

「標識」「右折導流線」「照明」等の対策で、「追突・右折事故」が減少しました

交通事故の発生状況



右折導流線設置



対策前



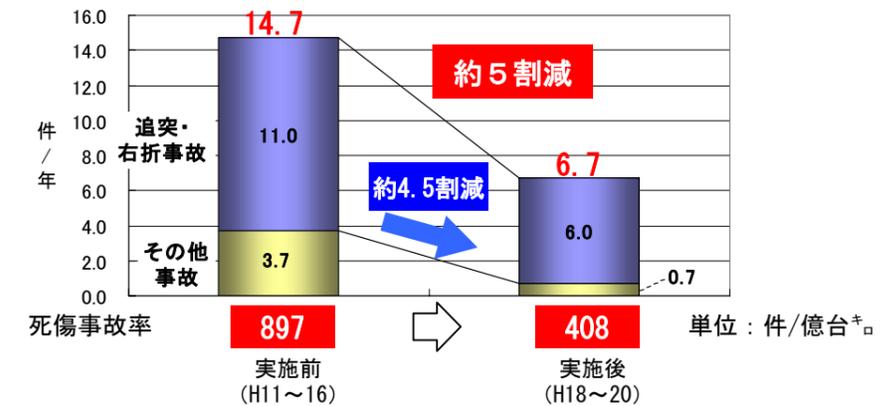
対策後



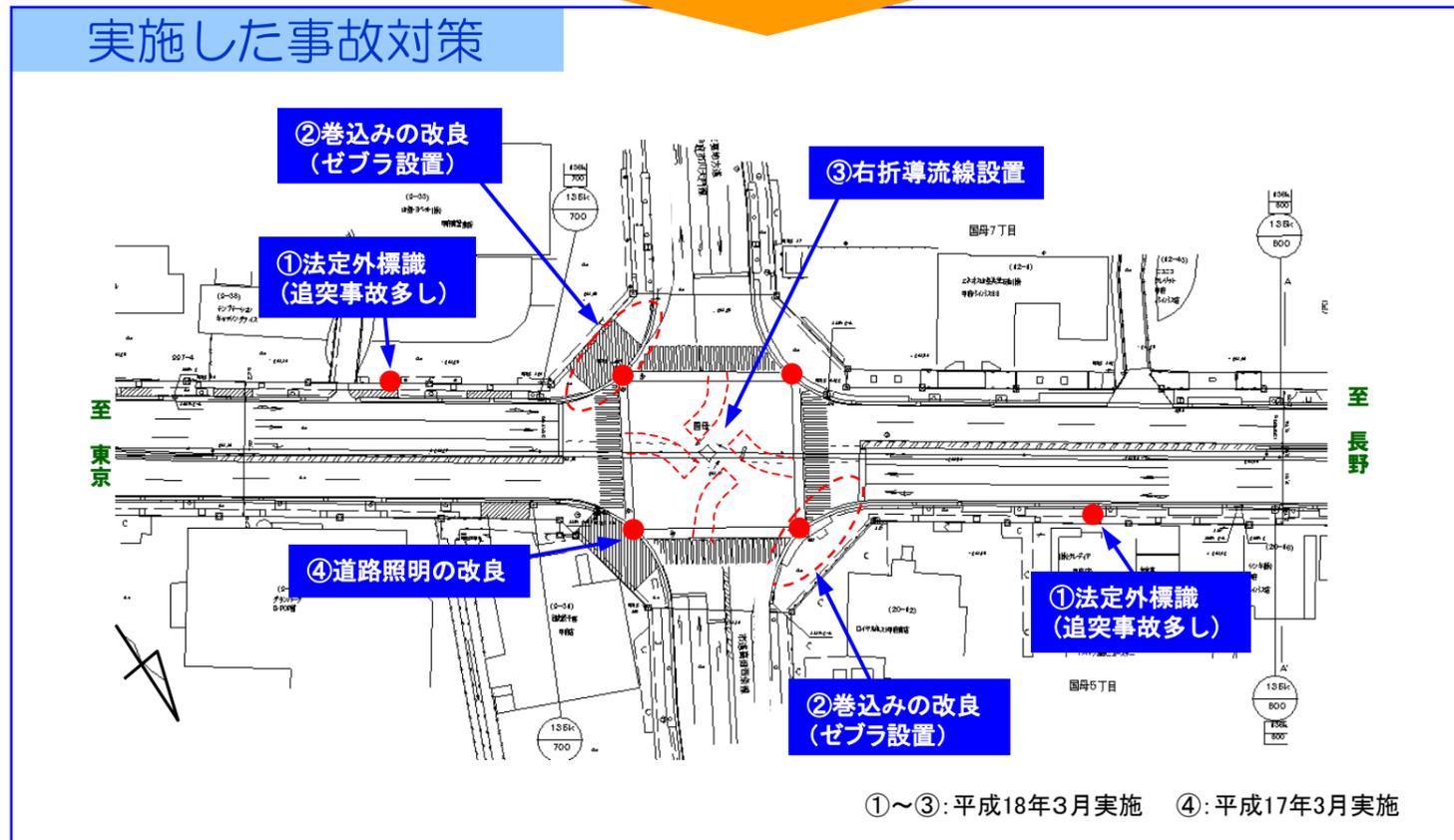
対策効果

- ・事故件数は、約5割減少傾向。
- ・着目した追突・右折事故では、約4.5割減少。
- ・事故件数は減っているが、死傷事故率は依然として高いため、引き続き事故対策を行う。

＜年平均事故件数の変化＞

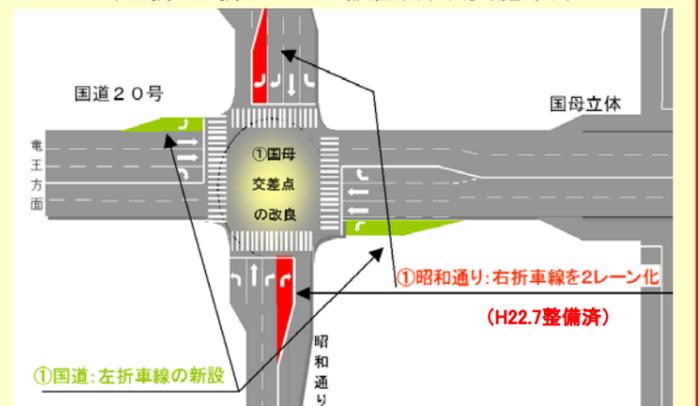


実施した事故対策



- ・国道側での左折レーンの設置、交差道路側での右折レーン2車線化 (H22.7整備済) が計画されており、さらなる事故削減を図る。

＜左折・右折レーンの設置計画(実施中)＞

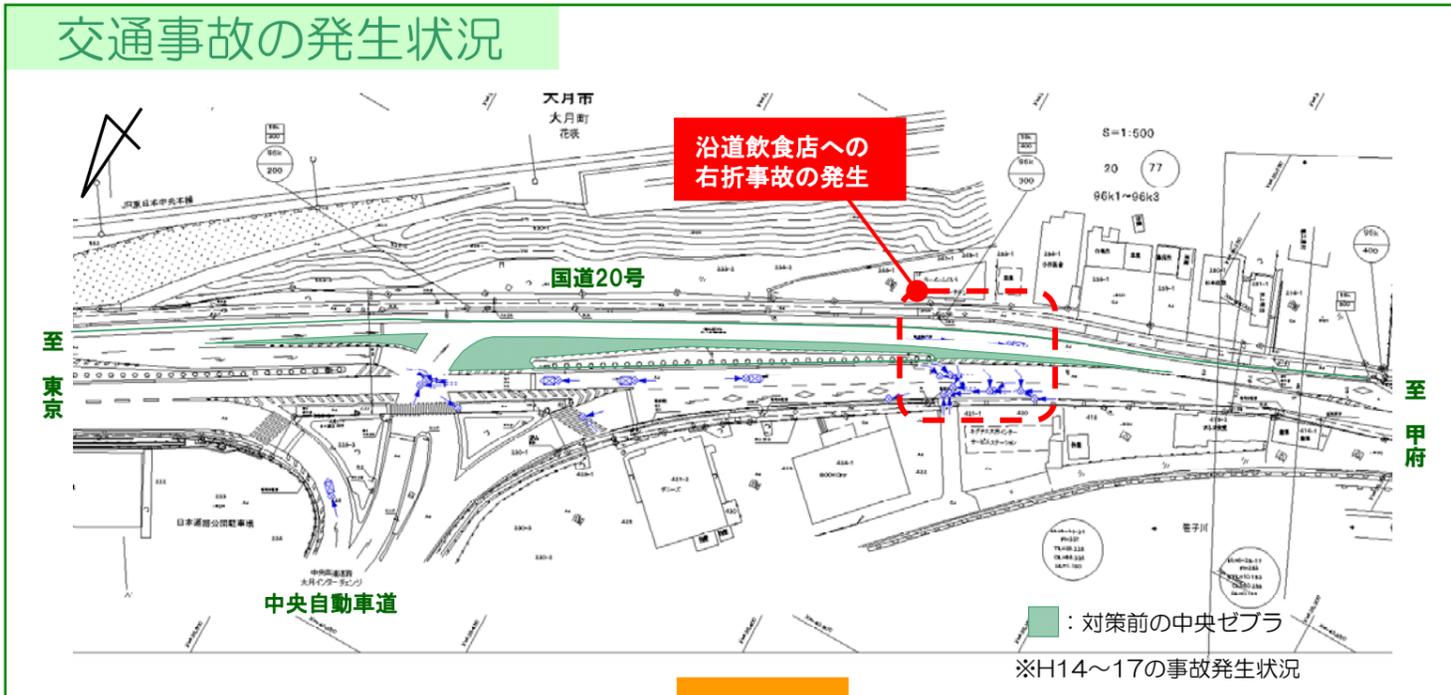


1. 山梨県における交通事故対策の取り組み (6/6)

(4) H17交通安全対策優先箇所の「対策効果」 事例3:国道20号 大月IC入口交差点 (No.47)

「標識」等の対策で、「右折事故」が減少しました

交通事故の発生状況



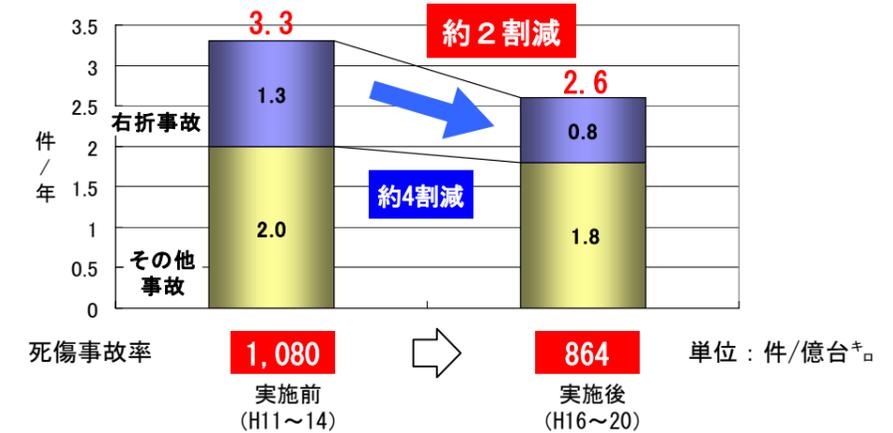
路面標示(中央ゼブラ拡幅)本線・路肩のシフト



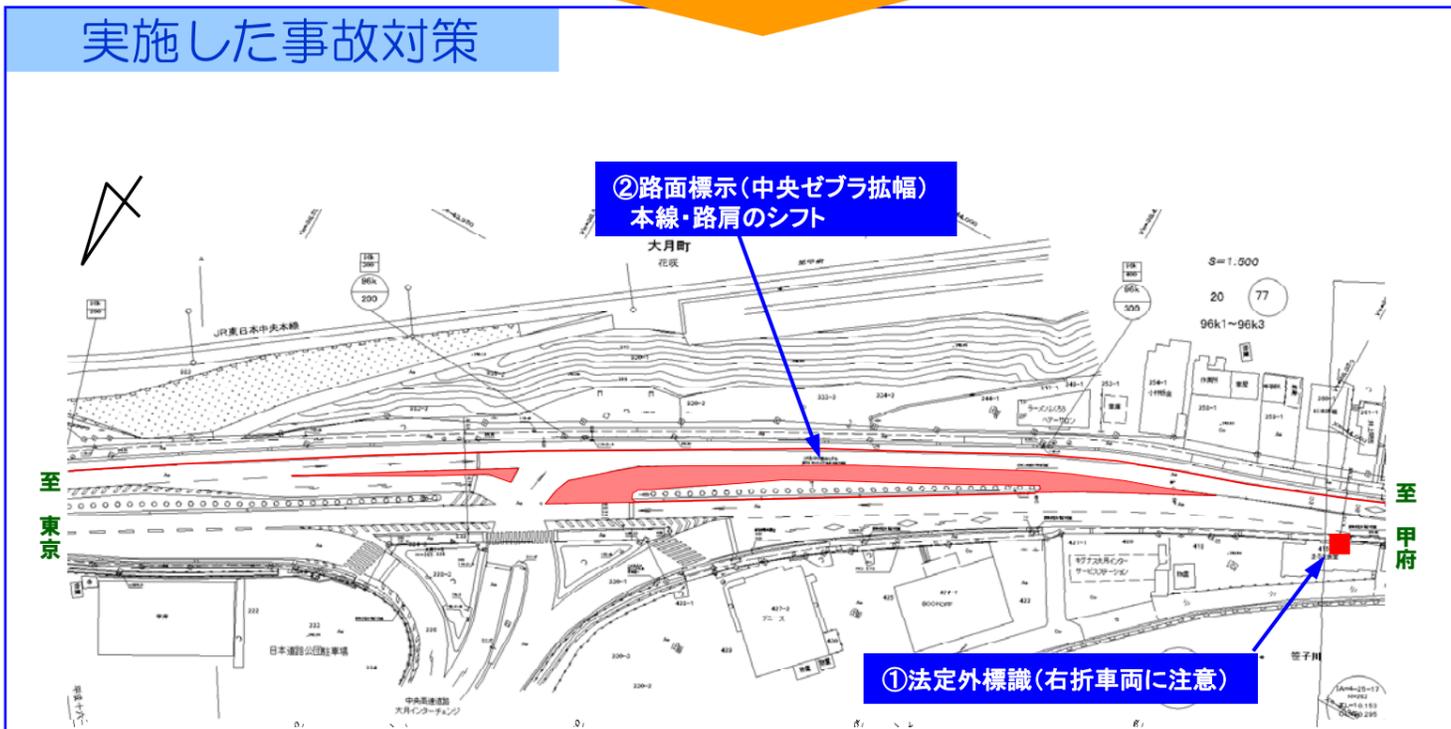
対策効果

- ・ 死傷事故件数は、約2割減少傾向にある。
- ・ 着目した右折事故は、約4割減少。
- ・ 死傷事故率は依然として高いため、対策を引続き行う必要がある。

<年平均事故件数の変化>



実施した事故対策



①:平成15年12月実施 ②:平成17年12月実施

・ 現在検討している、新たな事故対策(「新たな対策優先箇所」)で再評価を行うなど継続的な観測を行う。

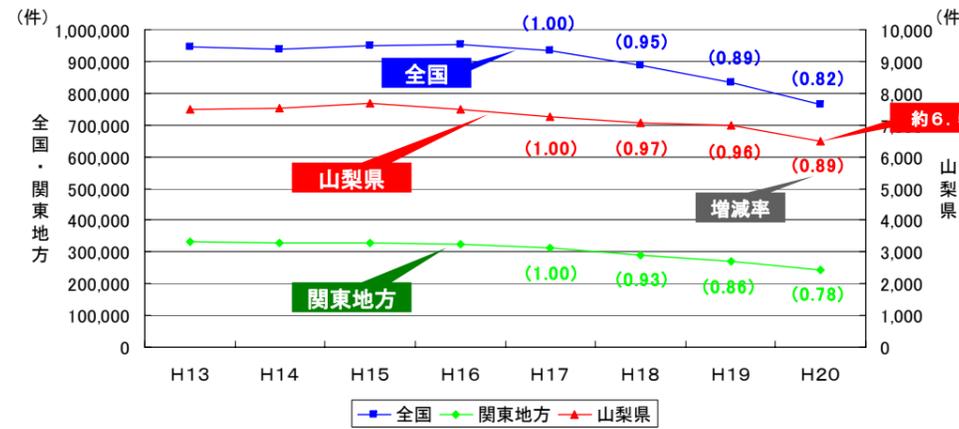
2. 山梨県における交通事故の現状 (1/2)

(1) 交通事故の発生状況

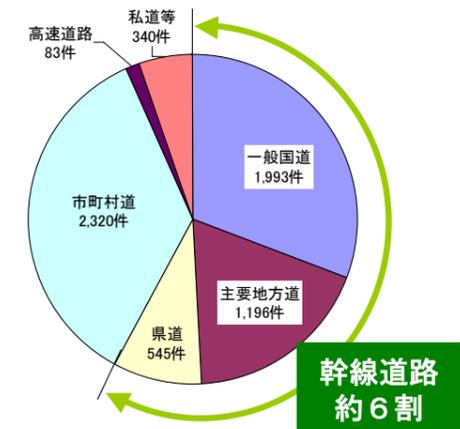
- ・現在、山梨県においては約6.5千件（平成20年）の死傷事故が発生。
- ・減少傾向ではあるものの、減少割合は全国等と比べても低い。



対策すべき箇所の全体を把握し、効率的な対策実施を図る。



資料：交通事故統計年報（平成13～20年版）
図 死傷事故件数推移 (H13-20) () : H17からの増減率



資料：H20交通事故統計年報
図 山梨県 道路種別別 死傷事故発生件数 (H20)

(2) 沿道状況によって異なる事故発生状況

- ・山梨県内における国道・県道の事故においては、以下のような特性がみられる。
 - ・総じて市街地（DID）における平均死傷事故率が高い。最も多いのが「追突事故」で、次いで「出会い頭」事故となっている。
 - ・なお、「追突事故」が占める割合は沿道状況によらず高い。
 - ・山地においては、市街地等で多い「出会い頭」や「右左折時」の事故が少なく、「正面衝突」事故が多いなど、沿道状況による特徴がみられる。



「対策効果が高い事故」（出会い頭・正面衝突）とその「地域特性」（市街地で多い出会い頭事故、山地で多い正面衝突事故）への着目

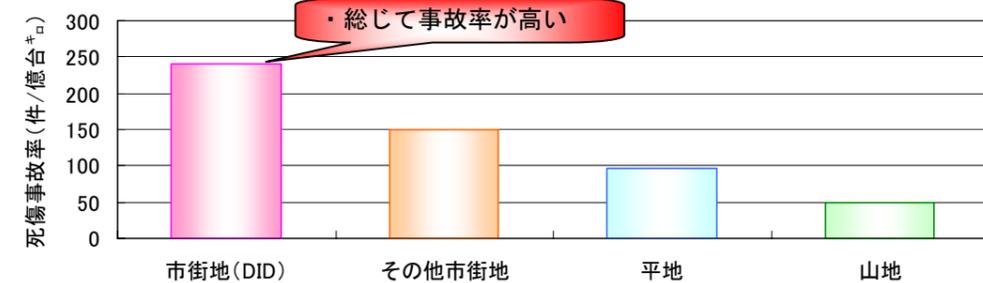


市街地

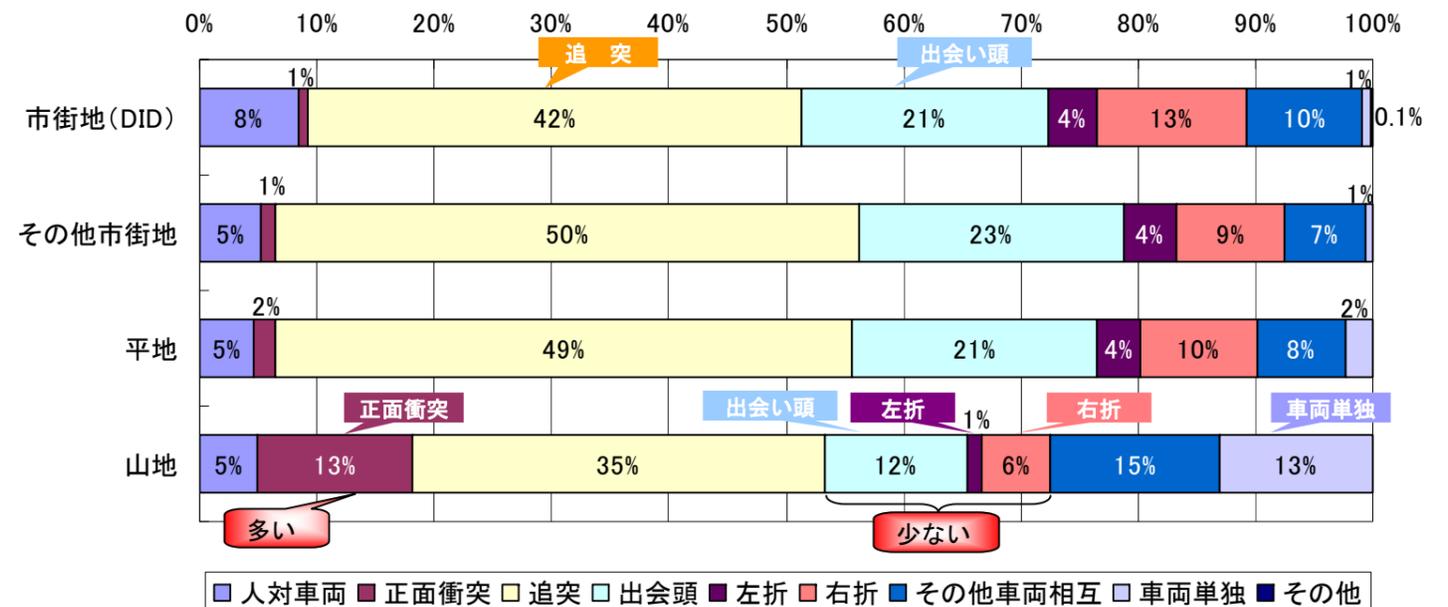


山地

地域別の平均死傷事故率(山梨県 国道・県道)



死傷事故率の構成比



資料：イタルダデータ (H17-20) 沿道区分は、H17道路交通センサスに基づく

2. 山梨県における交通事故の現状 (2/2)

(2) 沿道状況によって異なる事故発生状況

・事故の発生状況は、道路状況や沿道状況を反映した特徴がみられる。

国道52号

国道138号・139号

急曲線の連続する山地部の区間 (南部町周辺)

歩道整備の不十分な周辺市街地区間 (旧増穂町周辺)

多くの人や車が集中する中心市街地区間 (中央道交差部周辺)

鳴沢氷穴周辺

山中湖周辺

・カーブが連続する山地部の道路では、「正面衝突」、「車両単独」の事故が多発。

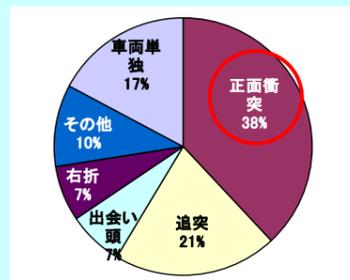
・歩道が未整備の既成市街地内の道路では、「追突」に加えて「人対車両」の事故が特に多い。

・道路交通量が多く、歩行者も多い中心市街地では「追突」に次いで「人対車両」、「出合い頭」の事故が多発。

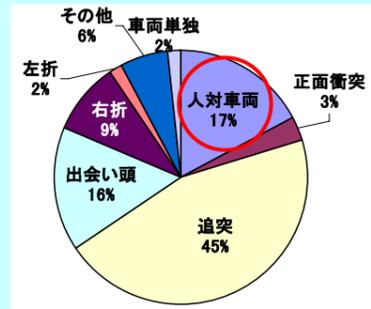
・観光スポットである鳴沢氷穴付近で「追突」を中心とした事故が多発。

・観光スポットである山中湖の湖畔では、「追突」に加え歩行者が巻き込まれる「人対車両」、「右左折」の事故が多発。

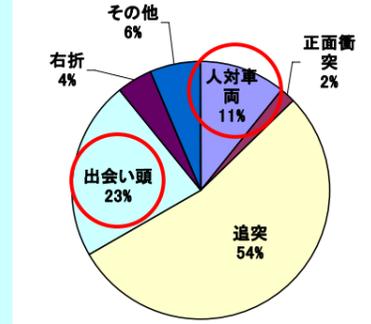
＜事故類型別構成(件数)＞



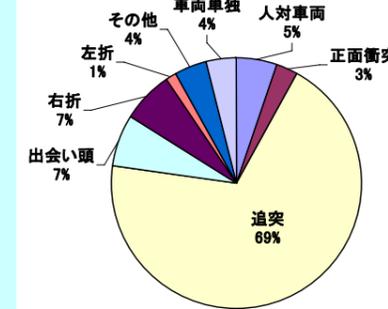
＜事故類型別構成(件数)＞



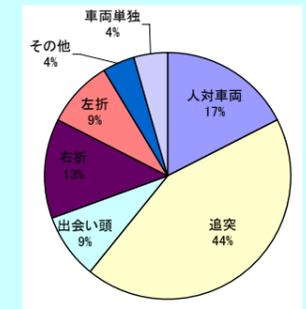
＜事故類型別構成(件数)＞



＜事故類型別構成(件数)＞



＜事故類型別構成(件数)＞

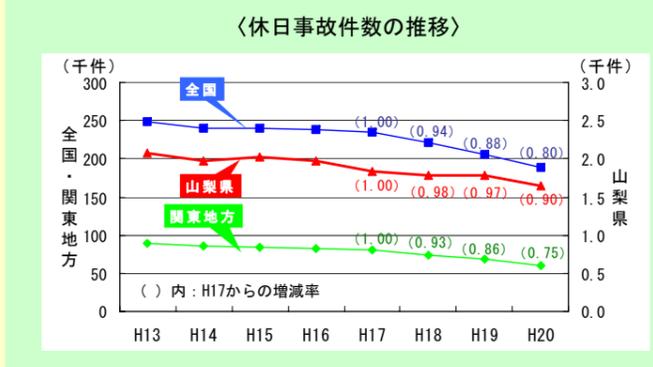
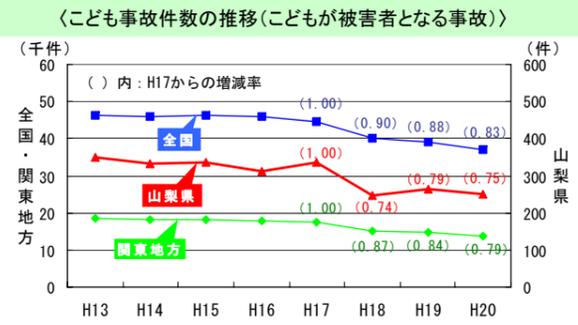
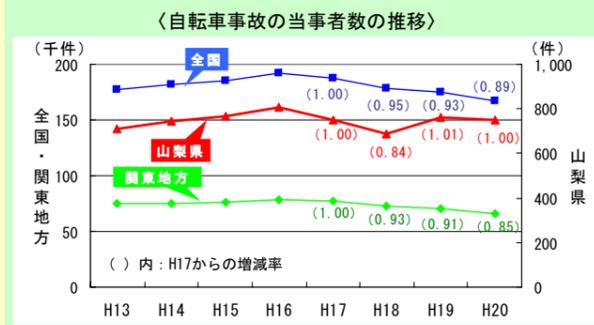


・「正面衝突事故」は、削減効果が大きい事故類型である。
・当該事故対策を積極的に進めることにより効率的、効果的な事故削減が期待できる。

・「人対車両」事故の中で「自転車事故」、「子ども事故」は、全国・関東地方において減少傾向にある中で、山梨県においては近年、「増加」あるいは「横ばい」となっている。
・昨今の地球環境問題による自転車への関心の高まりや少子化社会を踏まえると、これら事故削減は重要である。

・「出合い頭事故」は、削減効果が大きい事故類型である。
・当該事故対策を積極的に進めることにより効率的、効果的な事故削減が期待される。

・山梨県における休日事故は、減少傾向にあるものの、全国・関東地方と比べるとその減少割合は小さい。
・観光振興を支援する意味において、休日事故の削減は重要である。



・「山地部における正面衝突事故」を対策箇所抽出の新たな指標とする。

・「自転車事故」、「子ども事故」を、対策箇所抽出の新たな指標とする。

・「市街地(DID)における出合い頭事故」を、対策箇所抽出の新たな指標とする。

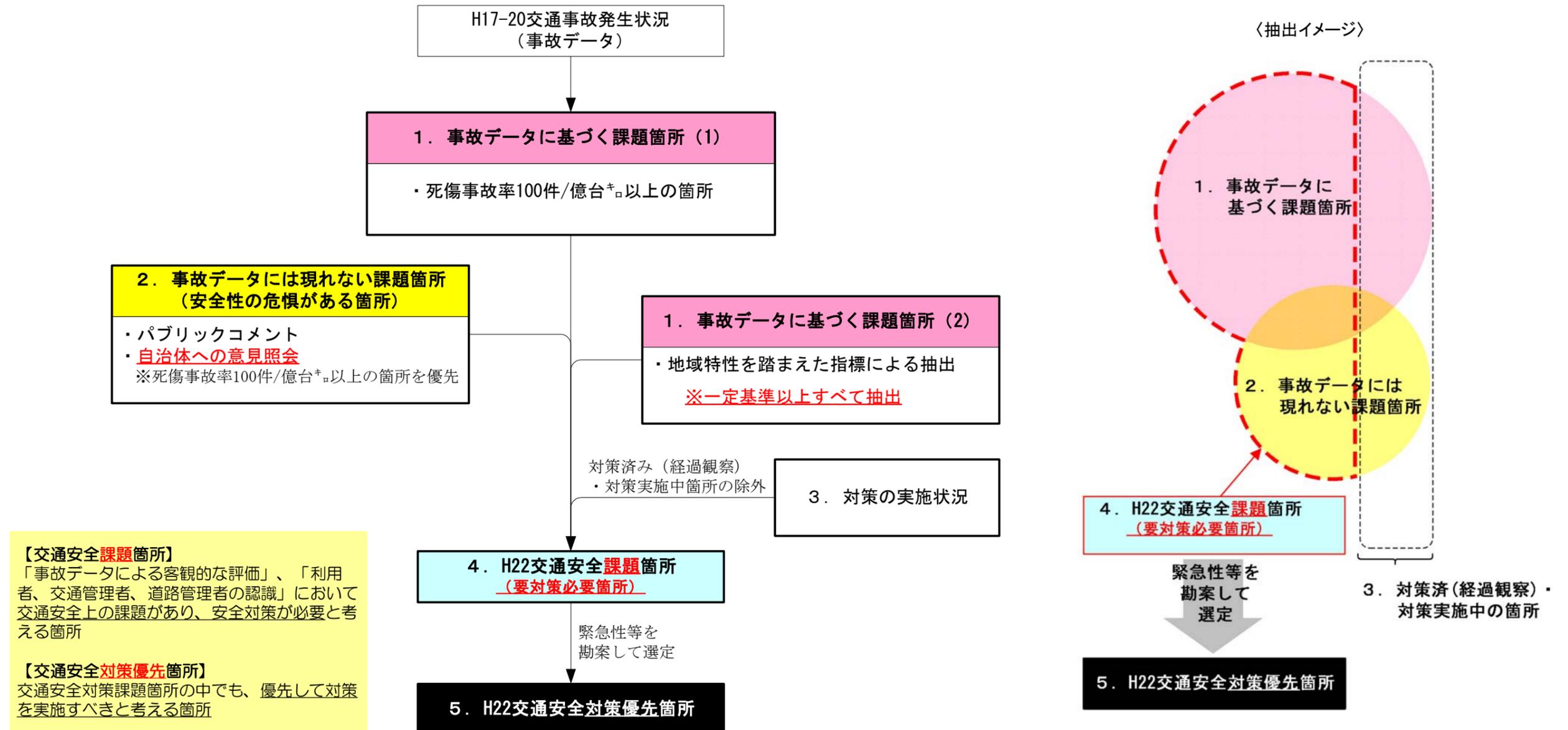
・「休日事故」を、対策箇所抽出の新たな指標とする。

3. 新たな対策優先箇所の選定

(1) 全体構成

- 平成17年度に選定した対策優先箇所（47箇所）は、甲府市周辺を中心に選択する結果となっている。（47箇所中36箇所が甲府市周辺）
- 新たな交通安全対策優先箇所の抽出にあたっては、甲府市周辺以外においても、交通安全上課題がある箇所を十分に把握した上で検討していくことが必要である。
- そこで、事故データに基づく課題箇所の抽出においては、山梨県の事故特性を踏まえつつ新たな抽出指標を追加するとともに、事故データに現れないヒヤリ・ハット箇所といった課題箇所に関しては、パブコメや自治体意見を通して抽出を行う。

交通安全対策優先箇所の抽出の全体構成

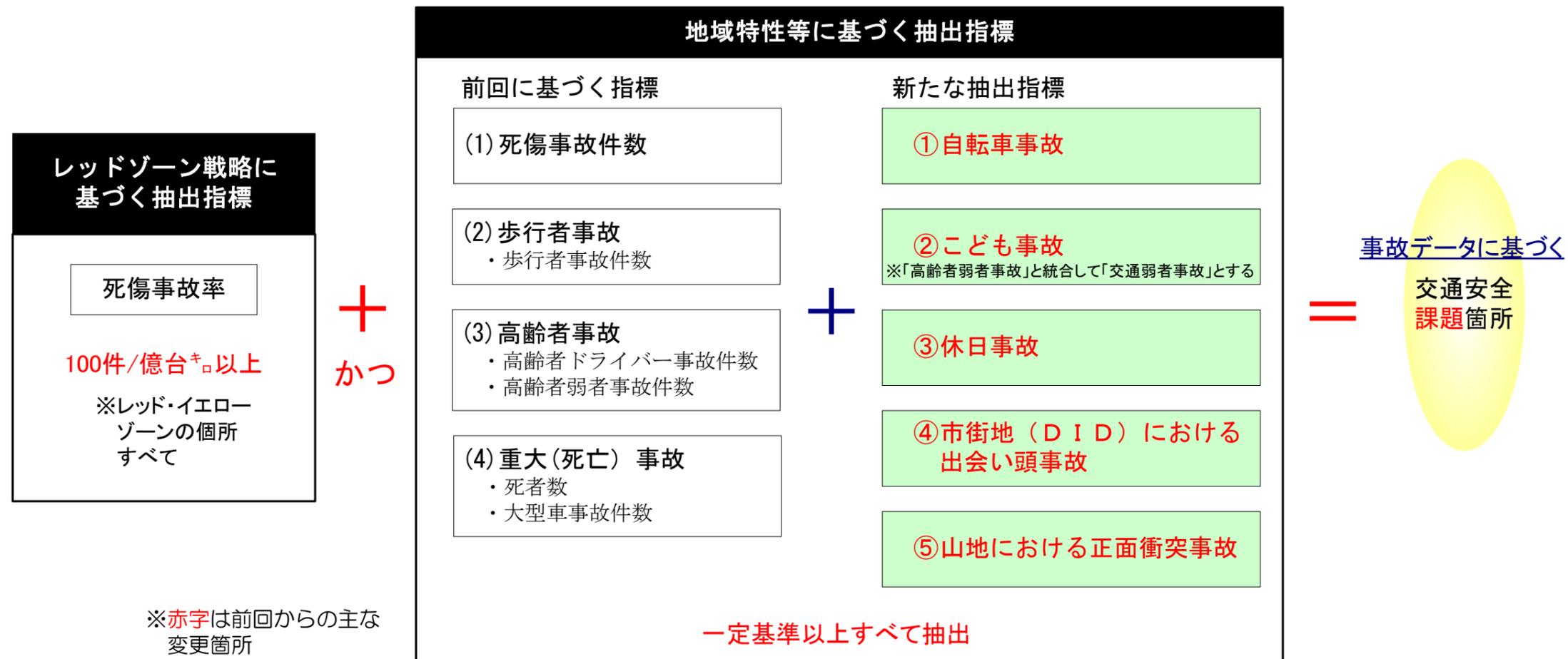


3. 新たな対策優先箇所を選定

(2) 事故データに基づく課題箇所の抽出

抽出の全体構成と抽出基準

- ・レッドゾーン戦略における「選択と集中」（効率的な対策の推進）の考え方に基づき、レッド・イエローゾーン以上を前提とした抽出。
- ・交通安全上課題がある箇所を抽出することから、「抽出基準」を定め、それを上回る箇所はすべて抽出。



3. 新たな対策優先箇所の選定

(3) H22交通安全対策優先箇所の抽出イメージ

- ・以下のいずれかに合致するものを「交通安全課題箇所」として抽出する。
 - ①死傷事故率100件/億台[※]以上の箇所より、「事故データに基づく抽出指標」のいずれかが一定基準以上
 - ②「安全性の危惧」（事故データには現れない箇所）がある箇所
- ・各指標の上位にあたる箇所、安全性の危惧（パブコメ、自治体意見など）を鑑みて「対策優先箇所」を選定する。

交通安全課題箇所

死傷事故率順位	箇所名	路線名	事故データに基づく抽出指標(ワースト順位)											安全性の危惧 (事故データには現れない箇所の抽出) ※パブコメ・自治体意見等	対策 優先箇所
			死傷事故率	死傷事故件数	歩行者事故件数	高齢者ドライバー事故件数	重大(死亡)事故		自転車事故件数	交通弱者事故件数	休日事故件数	市街地(DID)における出会い頭事故件数	山地における正面事故件数		
							死者数	大型車事故件数							
1	笛吹市 〇〇交差点	国道20号	1945件/億台 [※]	2位	89位	135位	45位	19位	120位	129位	243位	134位	- (0件)		●
2	甲府市 〇〇〇交差点	国道20号	1406件/億台 [※]	51位	315位	3位	45位	51位	224位	247位	349位	124位	- (0件)	○	●
3	甲府市 〇〇〇交差点	国道20号	1130件/億台 [※]	4位	310位	401位	13位	123位	301位	55位	205位	333位	- (0件)		●
4	大月市 〇〇〇交差点	国道20号	946件/億台 [※]	123位	10位	- (0件)	- (0件)	398位	- (0件)	61位	345位	224位	- (0件)		
5	昭和町 〇〇交差点	甲府市川 三郷線	905件/億台 [※]	36位	125位	254位	- (0件)	196位	- (0件)	19位	167位	201位	- (0件)		
6	甲府市 〇〇〇交差点	国道20号	899件/億台 [※]	167位	978位	51位	- (0件)	89位	874位	- (0件)	64位	9位	- (0件)		
7	笛吹市 〇〇交差点	国道20号	895件/億台 [※]	65位	356位	- (0件)	- (0件)	13位	125位	- (0件)	225位	346位	- (0件)	○	●
8	甲斐市 〇〇〇	〇〇〇線	874件/億台 [※]	333位	- (0件)	87位	55位	76位	9位	124位	134位	55位	- (0件)		
...	
...	
197	山梨市 〇〇〇交差点	国道〇〇〇号	865件/億台 [※]	165位	997位	697位	- (0件)	124位	- (0件)	- (0件)	84位	- (0件)	19位		
198	昭和町 〇〇	△△△△線	135件/億台 [※]	415位	1314位	- (0件)	19位	- (0件)	- (0件)	- (0件)	941位	- (0件)	- (0件)		
199	笛吹市 〇〇交差点	国道〇〇号	134件/億台 [※]	615位	- (0件)	17位	- (0件)	- (0件)	- (0件)	- (0件)	841位	- (0件)	19位	○	●
200	南アルプス市 〇〇〇	〇〇〇〇線	134件/億台 [※]	648位	- (0件)	1010位	55位	- (0件)	- (0件)	- (0件)	134位	- (0件)	18位		
201	富士河口湖 〇〇〇交差点	〇〇〇線	121件/億台 [※]	334位	- (0件)	- (0件)	- (0件)	- (0件)	988位	- (0件)	- (0件)	- (0件)	- (0件)	○	●
202	山中湖村 〇〇〇	◇◇◇◇線	101件/億台 [※]	284位	1620位	1010位	- (0件)	- (0件)	- (0件)	- (0件)	17位	- (0件)	98位		
203	鳴沢村 〇〇	△△△線	100件/億台 [※]	345位	- (0件)	- (0件)	- (0件)	- (0件)	1001位	- (0件)	86位	- (0件)	104位	○	●

①死傷事故率100件/億台[※]以上の箇所より一定基準以上を抽出

②パブコメ、自治体への意見照会により抽出

3. 新たな対策優先箇所を選定

(4) 事故データには現れない課題箇所の抽出

地元住民へのパブリックコメント

■実施方法

- ①市町村窓口・道の駅
 - ・市町村窓口・道の駅などでの調査票配布
- ②委員会委員を通じての配布
 - ・委員会委員の協力により、関連機関等に調査票を配布。
- ③HPへの掲載
 - ・甲府河川国道事務所、関係機関のHP上に調査票を掲載（回答は郵送回収）

■実施スケジュール

平成22年10月中旬 配布開始
 10月末 回収期日
 11月下旬 結果公表（次回委員会にて）

■質問項目

- ・今までに交通事故に巻き込まれそうになったこと、あるいは交通事故を起こしそうになったこと（ヒヤリとしたこと）について質問を行う。

交通安全	問 ヒヤリとしたことについて (1) ヒヤリとした場所 (2) 回答者の利用交通手段 (3) 相手の利用交通手段 (4) 状況及びその原因
個人属性	・住所 ・性別 ・年齢 ・自動車運転頻度

地元自治体などへの意見聴取

- ・地元自治体や交通管理者（警察）、道路管理者へ、交通安全上課題がある箇所に関して意見聴取を行う。

調査票はA3サイズ・カラー両面印刷・二つ折り

調査票・中面

「あぶない!」「ヒヤリ」と思ったことについて教えてください。

※山梨県内の幹線道路（国道、県道）を対象にお答えください。

交通事故を“起こしそうになったこと”、“巻き込まれそうになったこと”等、「あぶない!」「ヒヤリ」としたことはありましたか？
その状況について詳しくお教えてください。

問1 その場所はどこですか？道路名、交差点名、あるいは地名、住所をお教え下さい。

問2 その時、あなたはどのような交通手段で移動していましたか。

問3 相手の方は、どのような交通手段でしたか。

問4 具体的な状況やその要因についてお答え下さい。また、あわせて、その状況の略図をお書き下さい。

記入例

別紙資料の質問を写真の上、お答えください。

問1 (道路名) (交差点名)
 国道52号 甲府警察署南西交差点
 (地名、住所) 甲府市大内3丁目付近

問2 1.自動車 2.二輪車 3.自転車 4.歩いてた
 5.その他()

問3 1.自動車 2.二輪車 3.自転車 4.歩いてた
 5.その他()

問4 (具体的な状況)
 自転車の運転中、交差点を〇〇百貨店に向かって右折しようとした時、歩道橋の階段や段差、交差点南側から走ってくる歩行者の視界が遮れ、事故を起こしそうになった。

(略図)
 現場を特定するための目印となる建物等をお書きください。
 場所を特定できる道路名もお書きください。
 「あぶない!」「ヒヤリ」と思った状況の略図や要因をお書きください。

皆様の声を踏まえて対策箇所を選出します！

【平成17年に選出した事故対策優先箇所】

- ・平成17年にも、今回と同様に県民の皆様からご意見をいただき「交通安全対策優先箇所」として47箇所を選出しました。

【交通安全対策の実施例】

カラー舗装による注意喚起とポストコーンによる視界誘導
 【No.8 甲府市 進行4】

【No.2 甲府市 向町2交差点】
 道央の注意喚起の看板

減速を促す路面標示
 【No.38 北杜市 牧原交差点】

調査票・表面（裏表紙・表紙）

平成17年度に選定した事故対策優先箇所における対策実施状況

○平成17年度選定された事故対策優先箇所に対して、集中的に事故対策を行ってきました。
 ○事故対策優先箇所は47箇所あり、平成21年末には、38箇所にて事故対策が実施済みです。
 ○残りの9箇所についても対策実施中あるいは一部実施済みで、すべての箇所において対策を行っています。

加数	箇所番号	箇所名	道路	対策実施状況
1	1	山梨県道20号	山梨県道20号	→
2	2	山梨県道20号	山梨県道20号	→
3	3	山梨県道20号	山梨県道20号	→
4	4	山梨県道20号	山梨県道20号	→
5	5	山梨県道20号	山梨県道20号	→
6	6	山梨県道20号	山梨県道20号	→
7	7	山梨県道20号	山梨県道20号	→
8	8	山梨県道20号	山梨県道20号	→
9	9	山梨県道20号	山梨県道20号	→
10	10	山梨県道20号	山梨県道20号	→
11	11	山梨県道20号	山梨県道20号	→
12	12	山梨県道20号	山梨県道20号	→
13	13	山梨県道20号	山梨県道20号	→
14	14	山梨県道20号	山梨県道20号	→
15	15	山梨県道20号	山梨県道20号	→
16	16	山梨県道20号	山梨県道20号	→
17	17	山梨県道20号	山梨県道20号	→
18	18	山梨県道20号	山梨県道20号	→
19	19	山梨県道20号	山梨県道20号	→
20	20	山梨県道20号	山梨県道20号	→
21	21	山梨県道20号	山梨県道20号	→
22	22	山梨県道20号	山梨県道20号	→
23	23	山梨県道20号	山梨県道20号	→
24	24	山梨県道20号	山梨県道20号	→
25	25	山梨県道20号	山梨県道20号	→
26	26	山梨県道20号	山梨県道20号	→
27	27	山梨県道20号	山梨県道20号	→
28	28	山梨県道20号	山梨県道20号	→
29	29	山梨県道20号	山梨県道20号	→
30	30	山梨県道20号	山梨県道20号	→
31	31	山梨県道20号	山梨県道20号	→
32	32	山梨県道20号	山梨県道20号	→
33	33	山梨県道20号	山梨県道20号	→
34	34	山梨県道20号	山梨県道20号	→
35	35	山梨県道20号	山梨県道20号	→
36	36	山梨県道20号	山梨県道20号	→
37	37	山梨県道20号	山梨県道20号	→
38	38	山梨県道20号	山梨県道20号	→
39	39	山梨県道20号	山梨県道20号	→
40	40	山梨県道20号	山梨県道20号	→
41	41	山梨県道20号	山梨県道20号	→
42	42	山梨県道20号	山梨県道20号	→
43	43	山梨県道20号	山梨県道20号	→
44	44	山梨県道20号	山梨県道20号	→
45	45	山梨県道20号	山梨県道20号	→
46	46	山梨県道20号	山梨県道20号	→
47	47	山梨県道20号	山梨県道20号	→

**交通安全の削減を図るために
パブリックコメントへのご協力をお願いします**

平成17年に国土交通省ならびに山梨県国土整備部は、様々な専門分野の方々で構成される「山梨県道路交通円滑化・安全委員会」を立ち上げました。この委員会では、山梨県の交通事故データおよび県民の方々の意見を参考に、交通安全対策を優先的に実施する箇所（事故対策優先箇所）を選出しました。

この選定された事故対策優先箇所においては、集中的な事故対策の実施により、交通事故の減少を確認しています。

今後も同様に、交通事故による危険な箇所を新たに選定し、集中的に事故対策を行うことで、安全に通行できる道路を実現したいと考えております。

今回、国道・県道を対象に、改めて県民の方々に広くご意見をいただきたいと考えております。

本調査の主旨をご理解の上、ご協力をお願い致します。

調査内容
見聞き（P2～3）の質問に対して、付属の回答用ハガキでご回答のうえ、ポストに投函してください。

ご意見募集期日
平成22年10月31日（日）

実施主体
山梨県道路交通円滑化・安全委員会

問合せ先
国土交通省 関東地方整備局 甲府河川国道事務所内 事務局
TEL：055-252-9581（直通）

【ご注意】
回答内容の取り扱いについては、本調査のみ利用するものとし、個人の情報の取り扱い等については、ご迷惑をおかけすることはありません。

返信用ハガキ

料金を収入印紙にて
 甲府支店 承認
3030

〒400-8790
 甲府市緑ヶ丘一丁目10の1
 国土交通省 関東地方整備局
 甲府河川事務所内
 山梨県道路交通円滑化
 ・安全委員会事務局 行

差出有効期限
 平成22年12月
 31日まで
 切手不要

■あなた自身のごことについてご記入ください。

住所	市町村	性別	1. 男性 2. 女性
年齢	1. 20歳未満 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳～64歳 7. 65歳以上		
問 自動車はどのくらいの頻度で、運転しますか			
1. ほぼ毎日	2. 週に1～2回	3. 月に1～2回	
4. 運転しない	5. 免許が無いため、運転しない		

■別紙資料の質問を写真の上、お答えください。
 (交差点名)
 (地名、住所)
 問1 1.自動車 2.二輪車 3.自転車 4.歩いてた
 5.その他()
 問2 1.自動車 2.二輪車 3.自転車 4.歩いてた
 5.その他()
 問3 1.自動車 2.二輪車 3.自転車 4.歩いてた
 5.その他()
 問4 (具体的な状況)
 (略図)

ご回答ありがとうございました。表にも裏面があります

4. 今後の予定

第7回委員会(今回)

- ①交通安全対策優先箇所の抽出の考え方
- ②パブリックコメントの実施方針

2010年10月中～下旬 地元住民へのパブリックコメント実施

第8回委員会(2010年11月下旬予定)

- ①パブリックコメントの実施結果
- ②事故データには現れない交通安全課題箇所
 - ・住民へのパブリックコメント結果、地元市町村の意見等を踏まえた事故データには現れない課題箇所
- ③交通安全課題箇所(対策必要箇所)
 - ・「事故データに基づく課題箇所」及び「事故データに現れない課題箇所」をあわせた最終的な交通安全課題箇所
 - ・なお、交通安全対策の実施中のものを除く
- ④交通安全対策優先箇所
 - ・「交通安全課題箇所」の中から、緊急性等を勘案して優先的に対策を進めるべきと考える箇所